

# ゴンドラ

No.17

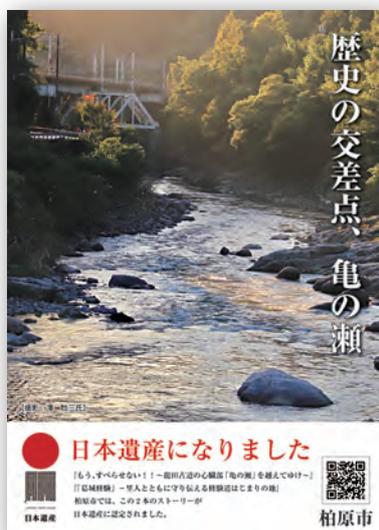
## 誕生！2つの日本遺産

令和2年6月19日、奈良県生駒郡三郷町とともに申請した「もう、すべらせない！！～龍田古道<sup>たつた ことう</sup>の心臓部「亀の瀬」を越えてゆけ～」と、和歌山県などとともに申請した「葛城修験<sup>かつらぎしゅげん</sup>一里人とともに守り伝える修験道はじまりの地」が、文化庁により日本遺産に認定されました。

日本遺産は「地域の歴史的な魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリー」を文化庁が認定し、その活用を支援する制度です。平成27年度に始まり、東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて認定するという一方で、今年度が最後の年でした。

「もうすべらせない！！」は、三郷町から柏原市へのびる「龍田古道」とともに、その道のなかで地すべりが繰り返されてきた難所「亀の瀬」をテーマにしたストーリーです。「葛城修験<sup>えんのぎょうじゅ</sup>」は役行者が初めて修業を積んだ和歌山～大阪～奈良の葛城の峰々を取り上げたストーリーで、その最終地が「亀の瀬」とされています。注目なのは、「亀の瀬」が2つのストーリーに登場する点です。

日本遺産認定を受け、その周知のためのポスターを作ることになりましたが、2件の日本遺産だけでなく、亀の瀬が「歴史の交差点」であることをアピールするため3パターンのポスターを制作しました。今後、活用の機会がさらに広がっていく「亀の瀬」に、ぜひご注目ください。



日本遺産の3つのポスター

## 企画展のご案内

### ◎令和2年度冬季企画展「ちょっと昔の道具たちーモノをハカるー」

令和3年1月5日～3月7日

毎年開催している昔の道具を中心にした展示で、小学3年生の学習内容に合わせた展示にしています。今回は、<sup>さおばかり</sup>棹秤、物差し、そろばんなど、「量る・測る・計る」に関する道具を紹介します。

### ◎令和2年度春季企画展「世界かんがい施設遺産 長瀬川と玉串川」

令和3年3月27日～6月13日

平成30年に長瀬川と玉串川は、国際かんがい排水委員会により「大和川分水築留掛<sup>ぶんすいつきどめか</sup>かり」として世界かんがい施設遺産に登録されました。2つの水路の歴史や重要性について紹介します。

## お知らせ

### ◎講演会

**市民歴史大学【定員：70名、時間：13:30～15:00、会場：研修室、参加費：200円、事前申込制】**  
市内の歴史や文化財をテーマにした講演会で、令和2年度のテーマは「古道をゆく」です。

#### ◆第2回 令和3年1月30日（土）

坂本 嘉和 氏（鳥取県埋蔵文化センター） 「最新の発掘調査が語る古代山陰道」

#### ◆第3回 令和3年2月27日（土）

村田 右富実 氏（関西大学 教授） 「万葉の龍田を読みひらく」

※市民歴史大学への参加には、メールもしくは往復はがきでの事前申し込みが必要です。

くわしくはホームページをご覧ください。お問い合わせください。

### ◎講座

**館長と学ぶ河内の古道講座【定員：70名、時間：13:30～15:00、会場：研修室、参加費：200円、先着順】** 当館の安村俊史館長による河内の古道についての講座です。

#### ◆第4回 令和3年1月23日（土） 「飛鳥時代の龍田古道」

#### ◆第5回 令和3年3月27日（土） 「斑鳩から飛鳥へ」

※4月以降の内容は、ホームページ、広報などでお知らせします。

### ◎体験教室

**「わらぞうりをつくろう」【定員：15名、会場：研修室、参加費：200円、対象：小学5年生以上】**

#### ◆令和3年2月7日（日） 13:30～16:00

※先着順で定員になり次第、締め切り。小学4年生以下は、保護者の付添いが必要です。

### ◎刊行物

・『柏原市立歴史資料館 館報 32号』500円…令和元年度の活動報告のほか、「国分中学西古墳の円筒形埴輪」「大和川付け替えと中甚兵衛」を掲載しています。

## 企画展を終えて

### ★令和元年度冬季企画展「ちょっと昔の道具たちーおいしいお米ができるまでー」

令和2年1月4日～3月8日 ※3月5日から5月20日まで臨時休館

見学者数 1,775 人（個人 1,135 人、団体 640 人）

### ★令和元年度春季企画展「龍田古道ーあの山を越えればー」

令和2年5月21日～令和2年8月23日

見学者数 1,230 人（個人 1,177 人、団体 53 人）

※新型コロナウイルスの感染状況により、  
会期を3月28日～6月14日から変更。

### ★令和2年度秋季企画展

#### 「大和川のつけかえ

#### ー求める人と反対する人ー

令和2年9月8日～12月8日

見学者数 5,214 人（個人 2,219 人、団体 2,995 人）



「龍田古道」ジオラマと輿こしの模型  
(市民歴史クラブ製作)

## 館長と学ぶ河内の古道講座

令和2年の6月まで、「館長と学ぶ大和川講座」を35回開催し、無事に完結しました。当館において重要なテーマである大和川についてみなさんとともに学んでいこうという趣旨で続けてきたものです。私事ですが、昨年3月で定年退職となり、それに合わせて講座を終了する予定だったのですが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い講座が延期となり、6月終了となりました。この間の講座の内容を、著書にもまとめることができました。これも講座に参加していただいたみなさんのおかげです。

令和2年4月からは再任用職員として館長も続けることになりました。みなさんから、「新しい講座を開催して欲しい」というお声をいただき、何をしようかと考えていたところ、6月に「龍田古道」が日本遺産に認定されました。それをうけて、河内を中心とした古道の講座を新たに開催することにしました。最近のわたしの研究テーマにも関連する内容です。この講座によって、歴史における道の重要性を学んでいただき、ぜひ歩いていただきたいと思います。歩くことによって、新たな発見があるものです。歴史は知識だけではありません。見て、感じて、考えていくものです。完結までに、2年以上かかりそうですが、みなさんとともに学んでいきたいと思っています。ご参加を期待しています。

(館長・安村俊史)



講座の様子

## 新型コロナウイルスと向き合う

2020年は新型コロナウイルスの感染拡大により生活は一変し、当館も令和2年3月8日～5月20日まで臨時休館するなど、様々な場面で感染拡大防止の対応が求められました。入館するにあたり、マスクの着用、手指の消毒、対人距離の確保をお願いするとともに、大阪コロナ追跡システム、新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」の利用を呼びかけています。

当館に限りませんが、どこの博物館でも多くの人々が一度に集まるのは講演会といったイベントになります。当館での講演会は、一応定員を設けてはいたのですが、定員を超えても、椅子を追加で出したり、立ち見でも良いということであれば参加を受け入れていました。しかし、感染が拡大している状況では、密を避けるため人数制限を厳格に行う必要があります。検討した結果、研修室の最大収容人数150名の半数以下である70名を定員とし、人同士の距離が近くなるため机をなくしました。

また近年、参加者の多い市民歴史大学や文化財講演会への参加方法も、大きく変更しました。これまでは先着順で講演会開始前に館内で並んでもらっていましたが、開館と同時に整理券を配布する方法を採用しました。なお令和2年度から、講演会の参加費として200円が必要となりました。お釣りなどの対応で受付が混雑するのを避けるため、整理券には研修室への入室時間を明記し、番号順に10名ずつ案内しました。また氏名や連絡先などを記入してもらう「緊急時連絡カード」を整理券とともに事前に配り、参加費と一緒に受付に渡してもらいました。

参加したみなさんのご協力により、講演会は大きな混乱もなく無事開催の運びとなったものの、開館の1時間前から館の入口に並ぶ参加者の方や、整理券をもうらうために場合によって2回資料館に来る必要があるなど、大きなご負担を掛けたと思います。またせっかくご来館いただいても、定員となったため参加をお断りするケースもありました。そうしたことを踏まえ、参加方法については、メールまたは往復はがきで事前に申込みをいただく方法に改めています。

試行錯誤の取り組みで、みなさんにはご不便をかけることも多いと思いますが、厳しい状況下でも可能な範囲で講演会やイベントを開催し、気持ちを少しでも明るくする治療薬になれば幸いです。

### ひとこと

令和2年度は、新型コロナウイルスの影響で、開館以来初めて夏季企画展が中止になりました。かわりに春季企画展の会期が変更され、幸いにも関係者のご協力で借用資料の延長ができました。その会期中に日本遺産に認定されたことは、本当にうれしいニュースでした。今年もそんな明るい話題がひとつでもあることを願っています。(W.Y.)

柏原市立歴史資料館 休館日 月曜日（祝日は開館）、年末・年始



開館時間 午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）

入館料 無料

〒582-0015 大阪府柏原市高井田1598-1 TEL：072-976-3430

歴史資料館ホームページ QRコード